
令和7年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和7年2月27日

質問者（質問順）

- 1 行 田 朝 仁 委 員 (公 明 党)
- 2 藤 崎 浩太郎 委 員 (立 憲 党)
- 3 柏 原 すぐる 委 員 (維 新 会)
- 4 古 谷 靖 彦 委 員 (共 産 党)
- 5 深 作 祐 衣 委 員 (民 主 フ)
- 6 おさかべ さやか 委 員 (自 民 党)
- 7 山 田 一 誠 委 員 (自 民 党)
- 8 横 山 正 人 委 員 (自 民 党)
- 9 井 上 さくら 委 員 (井 上 さ)

教育委員会事務局

局 別 審 査

1 行 田 朝 仁 委 員 (公 明 党)

1 学校給食について

(1) 小学校等給食における記者発表について

ア 今回の欠品事案の状況について伺いたい。

イ よこはま学校食育財団の登録先事業者の財務状況確認について伺いたい。

ウ 今回の件を踏まえた教育長の見解について伺いたい。

(要望) 再発防止の取組を進めるよう強く要望する。

(2) 中学校給食について

ア より生徒に満足される給食の実現に向けた具体的な取組について伺いたい。

イ 全員給食への移行に当たり、学校現場をどのようにサポートしていくのか伺いたい。

(要望) 残り1年、全員給食を必ず成功させるという強い意志と行動を要望する。

2 不登校児童生徒支援について

(1) 校内ハートフルの意義について伺いたい。

(2) 年度途中で校内ハートフルを開始した学校での取組状況について伺いたい。

(3) 令和7年度の不登校児童生徒支援事業の取組について伺いたい。

(4) 多様な居場所を提供すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(5) 不登校児童生徒支援のために設置する専門部署に期待することを伺いたい。

(要望) 不登校は問題行動ではなく、誰にでも起こり得ることである。だからこそ、不登校の時期があっても、社会と関わり、自立に向かって成長できるよう、取組を進めることを要望する。

3 インクルーシブな図書サービスの充実について

(1) デジタル技術導入のねらいについて伺いたい。

(2) これまでの電子書籍サービスの利用や予算の状況について伺いたい。

- (3) 電子書籍の拡充をより一層推進すべきと考えるが、見解を伺いたい。
(要望) インクルーシブの視点からも図書サービスの充実を要望する。

4 学校図書館への新聞配架について

- (1) 学校図書館への新聞配備に向けたこれまでの検討内容について伺いたい。
(2) 学校図書館に配備される新聞の選定方法について伺いたい。
(要望) これまで購読していた新聞を単純に継続するという学校が多いかもしれないが、趣旨を十分に踏まえて行えるよう、教育委員会事務局からもしっかりと周知することを要望する。
(意見) 文部科学省が掲げる、「児童生徒が主体的に主権者として必要な資質・能力を身につける」という趣旨に鑑みれば、児童生徒にとって、読み比べのできる環境の整備は必須である。
(3) 新聞の選定に当たって、学校の教員が新聞を読み比べる機会を設けるべきと考えるが、見解を伺いたい。
(意見) 全校で新聞配備目標を達成することができるため、今後は、日々の教育の中でいかに新聞を有効に活用していくかが重要である。
(4) 学校図書館に配備する新聞を、教育活動で十分に生かすことが重要と考えるが、見解を伺いたい。

5 特別な配慮や支援が必要な子供たちへの支援について

- (1) 就学に不安を抱える保護者に対し、どのように相談を行っているのかについて伺いたい。
(2) 特別支援教育支援員の謝金単価を増額したことによる効果について伺いたい。
(3) 現在の通級指導教室の課題について伺いたい。
(意見) 支援が必要な子供たちが、一般学級で学び続けられるよう支援をしていくことは、インクルーシブ教育を推進する視点からも非常に重要である。
(4) 現状の課題を踏まえ、改善を図るべきと考えるが、見解を伺いたい。

6 働き方改革（副校長サポート、職員室業務アシスタント）について

（１）業務内容の明確化の取組状況について伺いたい。

（２）アンケートの分析結果について伺いたい。

（３）その結果を生かし、負担軽減に取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

（４）副校長サポートの配置による効果について伺いたい。

（５）副校長サポートにより活躍してもらうためにどのように取り組むのか伺いたい。

（要望）来年度予算案は、今年度と同じく15校の配置となっているが、今後の配置拡大を要望する。

7 働き方改革（日本スポーツ振興センター災害共済給付制度）について

（１）給付金振込事務の集約化に当たっての実施方法やスケジュールについて伺いたい。

（２）給付金振込事務を教育委員会で実施することによる効果について伺いたい。

（要望）円滑な事務の実施を要望するとともに、他の事業でも人員の不足を感じるため、事務職員の増員を要望する。

8 学校環境整備について

（１）学校照明のLED化について

ア LED化の取組状況について伺いたい。

イ LED化を加速する上での課題と対応について伺いたい。

（要望）丁寧な調整による官民協力しての目標達成を要望する。

（２）体育館空調整備について

ア 体育館の空調整備の取組状況について伺いたい。

イ 体育館の空調整備の加速化の課題と対応について伺いたい。

（要望）課題克服、早期設置を要望する。

（３）普通教室空調の更新時期について伺いたい。

（要望）体育館空調や給食室空調についても先を見据えた計画を立て、教育環境の維持に努めるよう要望する。

(4) 学校のエレベーターについて

ア エレベーター整備の取組状況について伺いたい。

イ 今後のエレベーター整備の進め方について伺いたい。

(要望) 全校整備を目指し、整備を加速することを要望する。

9 災害に備えた学校プールの管理に関する学校の負担軽減について

(1) 災害に備えた学校プールの水の管理状況について伺いたい。

(2) 学校プールの維持管理について、必ずしも学校だけで担う必要はないと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 今後の維持管理の在り方の見直しを要望する。

1 新たな大型図書館の整備について

- (1) これまでの政策を転換し、新たな大型図書館を整備することの思いについて伺いたい。
- (2) 基本構想を検討し、作成するプロセスでは、市民の意見を十分に反映する機会を設けることや、市長部局と連携することは必須だと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) まちと図書館の双方に効果を生み出す視点を持って、図書館とまちづくりの連携の検討を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 大型図書館周辺への経済効果や、図書館の価値に関する数値による評価にも取り組むよう要望する。

2 不登校支援、いじめ対策について

- (1) 不登校支援・いじめ対策部で具体的に強化される支援・対策について伺いたい。
- (2) いじめ行為の早期の停止、また、重大事態に至っていない場合の調査期間について、明確にする必要があると考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) どのようにフォローするかを検討するために、調査期限は必要であるため、期限設定の検討を要望する。
- (3) 属人的な課題を解消できなければ、どのような仕組みを入れてもいじめの対応において問題が生じ続けるのではないかと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 教育委員会が学校の問題点を見逃さないため、どのように取り組んでいくのか伺いたい。
- (5) スクールカウンセラーがチーム学校の一員として役割を果たすため、どのように取り組むのか伺いたい。
- (6) 児童生徒一人一人の不登校理由を把握し、支援に生かすべきと考えるが、見解を伺いたい。

(7) オンライン学習について、学校長の判断に委ねるのではなく、教育委員会が方針や基準を示すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(8) オンライン学習の取組を発展させ、学びの多様化学校の運営に生かす等、設置に向けた検討を早急に進め、子供たちの学ぶ機会を守るべきではないかと考えるが、見解を伺いたい。

3 里子・里親支援について

(1) 自分が受けた相談の中で教職員から問題のある発言がなされたと考えられるが、そのことについてどのように捉えるか、多様な背景を持つ児童生徒と向き合う教職員に求められることをどのように考えるのか伺いたい。

(要望) 社会的養護の環境下で育つ子供たちには、虐待を受けるなど、幼少期から大変な環境におかれていた子も多く、様々な背景があることを学校現場でもよく知っていただきたい。

(2) 教職員や管理職に、里親制度、特に要保護児童等について学ぶ機会を設けてほしいと考えるが、見解を伺いたい。

4 スクールロイヤーの活用について

(1) 学校が直接相談しやすい仕組みにすべきと考えるが、見解を伺いたい。

(2) スクールロイヤーの今後の取組の成果をしっかりと検証し、最適な制度となるように検討を続けるべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 柏原 すぐる 委員（維新会）

1 教育行政の改革について

- (1) 教育行政改革に対する市長の関与の状況について伺いたい。
- (2) 市長の関与という意味では、意見交換をしたという認識か伺いたい。
- (3) 質の高い教育ができる体制の全体像をどのように捉えているのか伺いたい。
- (4) 方面別教育事務所が担ってきた機能の実績と近年の学校支援の状況、課題認識について伺いたい。
- (5) 新年度予算に計上されている事務局組織に係る調査分析事業でどのような検討を進めるのか伺いたい。
- (6) 不登校児童生徒等への伴走者についての受け止めと、関係各局ワーキングの取組状況について伺いたい。

2 豊岡町複合施設再編整備事業について

- (1) 令和7年度の推進体制について伺いたい。
- (2) PFI事業者運営面で期待する役割について伺いたい。
- (3) 様々な活動の主体である地域や団体等との連携を早期に進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 高校授業料無償化と教育の質向上について

- (1) 高校進学に伴う負担軽減措置の取組について伺いたい。
- (2) 無償化の要望事項と課題認識について伺いたい。
- (3) 無償化による市立高校生徒への影響と市立、県立、私立高校への進学状況について伺いたい。
- (4) 市立高校の生徒一人当たりの税投入額について伺いたい。
- (5) 市立高校の教育の質の向上に努めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

4 5歳児健診について

- (1) 課題認識と今後の関与について伺いたい。

5 特別支援教育支援員について

- (1) 特別支援教育支援員の配置時間と登録人数の推移について伺いたい。
(要望) 引き続き支援体制の強化を要望する。

6 不登校等を理由とする健康診断未受診者への対応について

- (1) 令和5年度健診受診率の状況に対する認識について伺いたい。
- (2) 調査研究の結果について伺いたい。
- (3) 事業計画書における事業指標アウトカムについては対象人数の受診率に見直すべきと考えるが、見解を伺いたい。

7 健康診断における脱衣問題への対応について

- (1) 周知などの対応状況について伺いたい。

8 横浜市少年自然の家赤城林間学園と横浜市少年自然の家南伊豆臨海学園について

- (1) 各施設の特徴と5年間の市立学校利用者数の変化や稼働率について伺いたい。
- (2) 現状への評価及び今後の取組について伺いたい。
- (3) 今後の施設の在り方について調査検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。

9 教育プロモーション事業について

- (1) 横浜市の教育の魅力発信プラットフォームの現状と今後のコンテンツ展開について伺いたい。
- (2) SNSやメディア等への展開の考え方について伺いたい。

10 インクルーシブ教育の実現に向けた新たな学びや校内支援体制等に関する研究について

- (1) 現在の取組状況について伺いたい。
- (2) 取組上の課題について伺いたい。

4 古谷靖彦委員（共産党）

1 いじめ重大事態調査報告書（主にX中学校）について

- (1) 事案の概要について伺いたい。
- (2) 当該生徒が1年時の担任の行為が「当該生徒に苦痛を与える」ことになったとあるが、担任のどのような行為で苦痛を与えたと考えているのか伺いたい。
- (3) 担任は当該生徒が自閉症スペクトラム症であることを知らなかったのか伺いたい。
- (4) 自閉症スペクトラム症で、チック症状も出ていた当該生徒に対してあまりにも配慮を欠いた行為だと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) どのような指導をされ、どのように改善されたのか伺いたい。
- (6) 自閉症スペクトラム症は特殊なものであるという認識なのか伺いたい。
- (7) 2年時、保護者によると「校長も担任や教科担任教諭の落ち度について認めたとあるが、この落ち度について具体的に伺いたい。
- (8) やっとの思いで登校した生徒への配慮が足りていない。1年時の担任以外にも配慮不足があるのではないかと考えるが、見解を伺いたい。
- (9) 3年時、休み時間中、当該生徒の机の全面にテープのりが貼られるということがあり、授業中は我慢して授業後に担任に申し出たが「これはばっちり張られていますね。これがクラスで起きたことはショックだ」と言ったまま何もせずに立ち去ったと保護者は申し出ているが、事実であるのか伺いたい。
- (10) 報告を怠ったことについて見解を伺いたい。
- (11) 教育委員会の調査では、当該教員がこのような言葉をかけたということは認めていないのか伺いたい。
- (12) 教員による度重なるいじめだと保護者は繰り返し訴えており、今回の事案は、懲戒処分に関する指針に基づくいじめなのではないかと考えるが、見解を伺いたい。
- (13) 今回の調査では、第三者委員会での対応ではないと書かれているが、そこまで断じることができるのか見解を伺いたい。

- (14) 教員によるいじめは、横浜市いじめ問題専門委員会で取り扱うのか伺いたい。
- (15) 今までに、教員によるいじめの調査をしたことはないのか伺いたい。
- (16) どのような調査なのか伺いたい。
- (17) 調査は行ったということだが、不適切な行為の中には児童生徒へのいじめを含んでいるのか否か伺いたい。
- (18) 教員によるいじめというものは存在しないということか伺いたい。
- (19) このすれ違いが報告書の中でも出ている。正に教育委員会がそのことを認めないがために最後の最後まですれ違っている。保護者はこの報告書を認めているのか伺いたい。
- (20) 再調査の申請をしているのか伺いたい。
- (21) どのような所見なのか伺いたい。
- (22) 教員による児童生徒のいじめについて調査できる仕組みをつくるべきではないかと考えるが、見解を伺いたい。
- (23) 起こった行為を保護者が教員によるいじめであると訴えていることについて、そういうことはないと説明するのか、伺いたい。
- (24) 報告された内容について、教育長の認識を伺いたい。
- (25) 調査報告が出るまでにあまりにも時間がかかりすぎているが、何のために報告書を出すのか伺いたい。
- (26) 過去の再調査の申立件数と再調査に至った数について伺いたい。
- (27) 教育委員会に不信があれば、市長部局に所見が出されるのは当然であるが、1件も再調査がなされていない。これでは機能していないのではないかと考えるが、見解を伺いたい。
- (28) 今年度の重大事態件数が激増しているが、今年が異常な事態なのか、それとも昨年度までが異常な事態なのか伺いたい。
- (29) 今まで重大事態があまり出てこなかったのは、何が原因なのか伺いたい。
- (30) 激増する重大事態について、対応できるのか伺いたい。

(31) いじめ重大事態調査報告書を出していることは素晴らしいことだと思うが、これをどう生かすかが重要である。現場の体制を整えることが一番大事だと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) いじめ問題については、一人一人の教員がきちんと向き合える体制づくりを要望する。

5 深 作 祐 衣 委員（民主フ）

1 ネット広告と情報リテラシーについて

- (1) 一人一台端末におけるネット広告に関するトラブルの有無と情報収集の方法について伺いたい。
 - (2) 一人一台端末における不適切広告に関する対策について伺いたい。
 - (3) 教員及び児童生徒への情報リテラシーに関する学びをより充実させるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) モラルだけではなく、様々な情報に触れざるを得ないこの時代に適したリテラシー教育を推進していただきたい。

2 不登校支援

- (1) 保護者の孤立を防ぐための取組について伺いたい。
- (2) 保護者への支援としてオンラインを活用すべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 科学技術人材の育成と探究学習について

- (1) 本市の理数教育の現状の取組と科学技術人材育成の考え方について伺いたい。
- (2) 探究学習へのさらなるICTの活用を目指し、子供たちの学ぶ意欲を高める取組を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

4 学校給食における地産地消の取組について

- (1) 学校給食における市内産使用への考え方と現状の取組について伺いたい。
- (2) 市内産を積極的に活用することの意義と目標設定について伺いたい。

1 教育委員会の組織改革について

- (1) 組織改革の質を高めるためにどのような調査を行ったのか伺いたい。
- (2) 今回の組織改革のその先に何をつくり出すのか、教育長の思いについて伺いたい。

2 チーム学年経営・チーム担任制の推進について

- (1) これまでのチーム学年経営の成果について伺いたい。
- (2) チーム学年経営とチーム担任制との違いについて伺いたい。
- (3) チーム担任制のねらいについて伺いたい。
- (4) チーム担任制の各バリエーションのメリットについて伺いたい。
- (5) 横浜市のチーム担任制の特徴について伺いたい。
- (6) チーム担任制の令和7年度の試行・研究の具体的な取組内容について伺いたい。
- (7) 子供の声を学校運営に反映させる仕組みについて伺いたい。
- (8) 今後の方向性について伺いたい。

3 新たな人材確保策の展開について

- (1) S P I 3を活用した選考のねらいについて伺いたい。
 - (2) より意欲・能力の高い人材の確保に向けた取組について伺いたい。
 - (3) 志望度を高めるための取組について伺いたい。
- (要望) 本市には、教科担任制、チーム担任制、チーム学年経営など、教員を志望する人たちにとって魅力的な仕組みがあるため、しっかりとPRすることを要望する。

4 中学校の制服について

(1) 制服の購入に係る経済的負担の軽減に向けた取組について伺いたい。

(2) 制服に関する夏の暑さ対策について伺いたい。

(要望) 制服のデメリット対策を十分に進めていただきたい。

1 児童生徒の自殺対策について

（１）子供の自殺の現状認識と対策に取り組む決意を伺いたい。

2 子供たちのＳＯＳをキャッチする方法の拡充について

（１）一人一台端末でＳＯＳをどのように受け取り、支援につなげているのか伺いたい。

（２）相手を選んで相談できる仕組みづくりの今後の方向性について伺いたい。

（要望）子供が自ら相談できることは抑止力になるので、一層の取組を要望する。

また、こども性暴力防止法第５条では、性被害について相談を行いやすくすることが義務化されているため、今後の検討を要望する。

3 教育委員会事務局の組織改革について

（１）組織運営改革に至った経緯・理由について伺いたい。

（２）法務ガバナンス室の役割について伺いたい。

（３）教育ＳＯＳサポートプラットフォームの内容について伺いたい。

（４）スクールロイヤー活用の具体的な内容について伺いたい。

（５）スクールロイヤーや弁護士が担当する内容の違いについて伺いたい。

（６）教育ＳＯＳサポートプラットフォームの情報共有の対象にスクールロイヤーも含め、弁護士がチームで問題にあたる体制を整えるべきと考えるが、見解を伺いたい。

4 不登校児童生徒支援について

（１）不登校児童生徒支援のこれまでの取組状況を伺いたい。

（２）これまでの取組から出てきた課題について伺いたい。

（３）新たに開設する不登校児童生徒支援拠点での取組内容について伺いたい。

（４）新たな拠点から、不登校に対応するワンストップセンターを発展させていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

1 中学校給食について

（意見）学校給食の無償化の流れが加速した際に、デリバリー方式と自校方式とで格差が生じてはならない。可能な学校から自校方式、親子方式に転換し、温かくおいしい給食を実現すべき。

2 新たな大型図書館の整備について

- （1）令和7年度に策定する新大型図書館の基本構想について伺いたい。
- （2）地区センターやコミュニティーハウスの図書コーナーの機能を充実させるとともに、中央図書館・各区の図書館が自らの役割・機能をしっかりと果たすことで、サービスの充実を目指すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- （3）新大型図書館整備の陣頭指揮を執る意気込みについて伺いたい。

3 教員の働き方改革について

- （1）第4期教育振興基本計画指標の「2か月連続で時間外在校等時間が月80時間超の教職員数」の推移について伺いたい。
 - （2）教育長は、デジタル統括本部長、旭区長の前職があるが、この表を見て市長部局にいたときと今の立場とでどのような感想を持つか伺いたい。
 - （3）部活動の顧問を望まない教員は、顧問を担わなくても良いようにすべきと考えるが、見解を伺いたい。
- （意見）部活動指導員をさらに配置することが望ましい。
- （4）持続可能な部活動に向け、新たな財源確保策としてふるさと納税なども含めて検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - （5）教員の確保に向け、教員採用試験の柔軟化・多様化をさらに推進すべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - （6）教員の働き方改革に取り組む意気込みについて伺いたい。

4 中学校への35人学級の導入について

(1) 中学校への35人学級導入による学校施設への影響について伺いたい。

(2) 中学校への35人学級導入を見据えた教職員の確保に向けた考え方について伺いたい。

(3) 今後の教員確保に向けた意気込みについて伺いたい。

(要望) 子育てしたいまちの実現に公教育の充実は不可欠である。既成概念にとらわれない、大胆な発想でより良い教育環境の実現に取り組むことを要望する。

1 いじめ重大事態調査／いじめ防止基本方針改定について

- (1) いじめ重大事態調査の令和元年度から令和7年1月までの各年度の認定数を伺いたい。
- (2) 令和6年度いじめ重大事態調査認定数の大幅増の原因について伺いたい。
- (3) 昨年度以前は、法令に沿わずに多くの重大事態が見落とされていたということか伺いたい。
- (4) 法令に沿っていないケースの有無について伺いたい。
- (5) もっと早く重大事態認定すべきだった案件では、学校・教育委員会の対応の問題も調査検証が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (6) 学校や教育委員会の対応が遅かったのかもしれないということも含めた調査は必要ということか伺いたい。
- (7) 令和元年度から令和7年1月までの各年度の学校主体調査と専門委員会調査の内訳を伺いたい。
- (8) 今年度から多くを学校主体調査で行っている理由について伺いたい。
- (9) 今までとは運用を変えたのか伺いたい。
- (10) 専門委員会調査と学校主体調査との調査主体の構成員について伺いたい。
- (11) 学校主体調査は校長が責任者ということで間違いはないか伺いたい。
- (12) 学校による調査で自ら、あるいは上司の問題を調査できるのか伺いたい。
- (13) 報告書をまとめる責任者は校長ではないのか伺いたい。
- (14) 横浜市いじめ防止基本方針の改定素案における調査主体に関する変更点について伺いたい。
- (15) 新たな調査は教育委員会が主体となって行う調査なのか伺いたい。
- (16) 改定素案におけるいじめ問題専門委員会が担当する事例について伺いたい。
- (17) 原則、自殺事案と学校で行った調査に対する追加のみが専門委員会調査になるということなのか伺いたい。
- (18) いじめ防止基本方針の改定素案の新旧対照表を公表すべきと考えるが、見解を伺いたい。